



1_楽しそうに音色を奏でる宮川さんと音楽を通じて出会った友人の皆さん。夜な夜な集まって練習しているそう。/2_ふすまを取って1部屋に。ピアノやスピーカーなどの機材が並ぶ。/3_愛猫も梁を伝って遊びまわる。

Interview



宮川 有紀子さん(田平町)

令和3年5月に広島県尾道市から田平町に移住。空き家バンクで空き家を購入し、音楽活動を続けながら、愛猫2匹と暮らしています。

コロナをきっかけに平戸に移住

昨年5月に広島県から田平町に移住してきました。これまで、音楽に関わる仕事をしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で、演奏する場所や機会が減り、地方への移住を考えるようになりました。移住先を探して九州各地を巡る中で、音楽活動で田平町を訪れた時に、カフェを営みながら「ながさき移住コンシェルジュ」としても活動している力武さんと出会い、市が貸し出しているお試し住宅を紹介してもらいました。お試し住宅で暮らしながら平戸の人たちと関わるなかで、すぐに友人もでき、平戸の人たちの新し

ものを受け入れる風習や明るく優しい人柄に魅了され移住を決めました。

空き家バンクで住まい探し

移住するとなると新たな住まいが必要ですが、私は、地域協働課が運営する空き家バンクに登録されている空き家を市の担当者の案内で見回り、現在の住まいを決めました。購入当初は、天井には動物が棲み着き、かなり傷んでいましたが、市の補助金などを活用し、梁を活かした天井に生まれ変わりました。また、友人たちの協力もあり、みるみる自分の理想の住まいへと生まれ変わっています。

特集 空き家をつなぐ

人口減少などの要因で増え続けている空き家。そのまま放置するとさまざまな問題を引き起こす可能性があります。しかし、平戸に移住する人たちの中には空き家を改修し住まいとする人たちもいます。今回の特集では、空き家の活用について考えます。

☎ 地域協働課定住推進班 ☎22-9105

増え続ける空き家

身の周りに、住む人がいなくなり、放置され草木が生い茂ってしまっている空き家はありますか。少子高齢化に伴い、このような空き家は増え続けています。空き家はそのままにしておくと老朽化が進み、倒壊の危険性が高まるなど、さまざまな問題を引き起こします。また、庭の管理が不十分な場合は、生い茂った庭木や雑草が景観を乱すだけでなく、虫や害獣の発生につながり、近隣の住民にも迷惑をかけることになってしまいます。

空き家を求める人たち

このように空き家が問題となる中、平戸に移住する人たちの中には、空き家を購入・賃貸し住まいとする人たちがいます。地元の人からすると、「こんなところに住む人はおらん」と感じるような場所でも、移住を希望する人からすると理想の環境である場合もあります。もし、空き家を所有し管理に困っていたり、近隣に空き家がある場合は、気軽に相談してみませんか。空き家を待っている人がいるかもしれません。



元々の梁を活かした天井。宮川さんのお気に入りポイント。

先入観を捨てて

移住して感じたのは、空き家の所有者と移住希望者の住環境に対する考えの違いです。空き家の所有者の皆さんは「立地が悪いから誰も買わないだろう」「かなり傷んでいるし、売りに出せる状態じゃない」と考えている人が多いようです。

一方で、移住を希望する人は家の状態よりもロケーションを重視する人や古い家を自分の好きなように改修したい人、広い家を求める人などさまざまです。移住を希望する人が自力で住まいを探すにはかなりの労力が必要のため、空き家バンクで自分の求める条件にあった物件を探せることは大きなメリットと言えます。先入観を捨てて、空き家の活用を考えてみてはいかがでしょうか。

放置しておくときケンな『空き家』

空き家はそのまま放置しておく、さまざまな問題を引き起こす可能性があります。適正な管理と空き家バンクなどの活用とともに、すでに老朽化が進み危険な状態となっている場合には、補助金などを活用して解体することなども視野に入れておく必要があります。



平戸市老朽危険空き家除却事業補助金

問 都市計画課建築班 ☎22-9166

老朽化した危険な空き家住宅の除却を行う人に対し費用の一部を助成する制度です。空き家を所有している人だけでなく、自宅の隣接地に空き家がある人が空き家込みで、土地を所有した場合でも活用できます。空き家の解体で悩んでいる人はご相談ください。

○対象となる建築物(次の条件を満たすこと)

- ▼市内にある、現に使用されていない建物(空き家)であること
- ▼木造であること

- ▼半分以上が住宅として使用されていたこと
- ▼職員による事前調査により、腐朽または破損の程度が一定以上と認められたもの

○申請できる人

- ▼建物の登記簿上の所有者とその相続人
- ▼上記の人から同意を得た人

- 補助額 除却工事費(税抜)の80%または、国の基準額の80%のうちいずれか少ない額の2分の1(上限80万円)

※詳しくは、都市計画課までお尋ねください。

空き家と人をつなぐ 空き家バンク

いろいろな思い出が詰まったまま、使われなくなってしまった空き家。その管理は相続した人にとって大きな負担となります。そんな空き家を、必要としている人につなぎ、活かす『空き家バンク』という制度があります。この機会に、空き家バンクへの登録を考えてみませんか。

移住・定住希望者の条件に合う空き家を

一方で、平戸市への移住・定住に

市地域協働課では平戸市への移住・定住を考えている人たちのため、市内の空き家情報をまとめた「空き家バンク」を運営しています。空き家バンクは自分の所有する空き家を有効活用したい人と空き家を求める移住・定住を考えている人をつなぐ制度です。

空き家バンクは平戸市公式ホームページから見ることができ、空き家が所在するエリアや住所、販売価格、築年数、間取りなど住宅に関するさまざまな情報を閲覧できます。空き家の外観や内部の写真を掲載しているため、事前に空き家の状態を確認することもできます。

令和2年度末時点での物件登録数は52件で、新規登録件数は売却希望が14件、賃貸希望が1件の合計15件となっています。令和元年度からは新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、空き家バンクへの登録物件数は伸び悩んでいる状況です。

空き家を有効活用『空き家バンク』

関する相談件数は毎年増えていきます。令和2年度には200件近い相談が寄せられており、移住・定住先に平戸市を候補として考える人が増えていることがわかります。

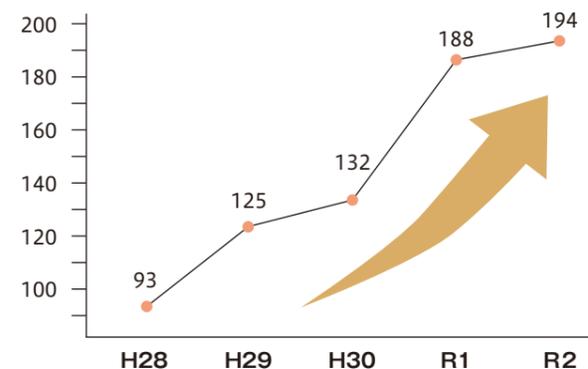
しかし、移住・定住を考えている人たちが空き家に求める条件は「海が見える場所にある家」「広い土地がある家」「大きな梁がある古い作りの家」などさまざま。そのため、その条件に合う物件を紹介できないこともあります。平戸へ移住・定住する人を増やしていくためにも、空き家バンクの物件登録数を増やし、多くの選択肢の中から選ぶことができるようにしていく必要があります。

まずは気軽に相談を

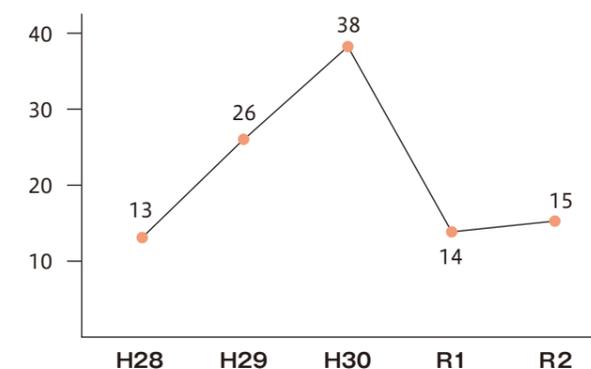
市地域協働課では、移住・定住を希望する人たちの相談はもちろん、空き家バンクに登録したいという相談も受け付けています。

もし、空き家を売りたい・活用したいという人がいれば、気軽に市地域協働課までご相談ください。空き家の状態を確認し、空き家バンクへの登録から契約、物件引き渡しまでサポートします。相談をお待ちしています。

■平戸への移住・定住に関する相談件数の推移



■空き家バンクへの新規登録物件数



Interview 「空き家バンクに登録して」

約5年前に私の実家が空き家となり、家財道具の整理やその後の管理をどうしようかと悩んでいたところ、志々伎地区まちづくり運営協議会の人から空き家バンク制度を紹介されました。登録後、コロナ禍で借りてくれる人がいるのか不安でしたが、昨年8月に家を借りたいという人が見つかり一安心しました。

空き家は住む人がいないとどんどん傷んでしまいますし、管理しつづけるのも大変です。空き家バンクに登録したことで、親が残してくれた思い出のある家を大切に使ってくれる人が見つかり、地域の人からは「移住者が来てくれてうれしい」との声もあり、空き家バンクに登録して良かったと思います。



小田 直美さん(志々伎町)

空き家を活用するために

問 地域協働課定住推進班 ☎22-9105

中古住宅改修費用支援事業

- 対象 転入して市内の中古住宅(空き家バンク制度を介している物件)を取得する人または市内に中古住宅を所有している人
- 補助内容 居住を目的とした、家屋の改修経費および放置されていた家財道具の撤去に要する経費の2分の1(上限50万円)

住宅改修支援事業(Uターン者向け)

- 対象 Uターン者またはその2親等以内の親族で、市内に一戸建て空き家を所有している人
 - 補助内容 Uターン者またはその2親等以内の親族が所有する物件で、Uターン者の居住を目的とした家屋の改修経費の2分の1(上限50万円)
- ※詳しくは、地域協働課までお尋ねください。